



CISJ NEWS

A Publication of the Clinical Implant Society of Japan

January 2012

ご挨拶



会長
井 汲 憲 治

新年のごあいさつ

新年、明けましておめでとうございます。先生方におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

本会の会員数は現在全国で2番目の規模の研修施設となっており、専門医・指導医の数も全研修中1、2を競っております。昨年とは未曾有の大震災の影響で、本会のスケジュールに少なからず影響があったものの、通年としては東京と大阪で例年どおりの研修会を開催することができました。加えて、11月には2011年度認定講習会が無事おわり、35名の新しい仲間が増えました。

これも関係する全ての委員会の先生方、会員の先生方のご努力と情熱の結果だと思えます。ほんとうにご苦労さまでした。

昨年の好事の一つに名古屋の学会における、本会会員のケースプレゼンテーション試験全員合格があります。合格基準が上がり他施設の極めて多数の受験者が合格できなかった中、一人も落ち込ませることがなかったことは大いに誇っていいと思えます。

これは決して偶然ではありません。臨床を発表する参加型の研修を“毎年”継続して実践出来ている結果であると思えます。全員発表会に継続して参加・発表し、そこで先輩のアドバイスを受け、ケーブル予演会での訓練を積んでおけば、なんなく試験に合格できるレベルに達してしまいます（誇張ではありません）。今年の全員発表研修会は、中野喜右人副会長を中心にご準備いただき、7月に大阪（於：ロイヤルホテル）にて開催いたします。一人でも多くの会員の参加・発表をよろしく願います。

また、昨年11月には第25回 AOIA（アジア口腔インプラント学会（井上達学会長））が、新生 AOIA として深井真樹大会長のもと六本木ヒルズにおきまして盛大に開催されました。この数年は日本での開催となると思われませんが、会員は自動的に会員でもありますので、今後とも積極的に AOIA へのご参加、ご協力をお願いいたします。

世界情勢のみならず、日本社会の未来も不透明さを増しております。しかし、インプラント専門医として本当の実力があればどのような状況下でもタフに対応できます。そして、日本口腔インプラント学会専門医の取得は大きな意味をもたらしてくるものと思われまます。

今年も研修会や行事に積極的に参加し、みんなで力を合わせて、自身の目標の達成に向けて頑張りましょう。